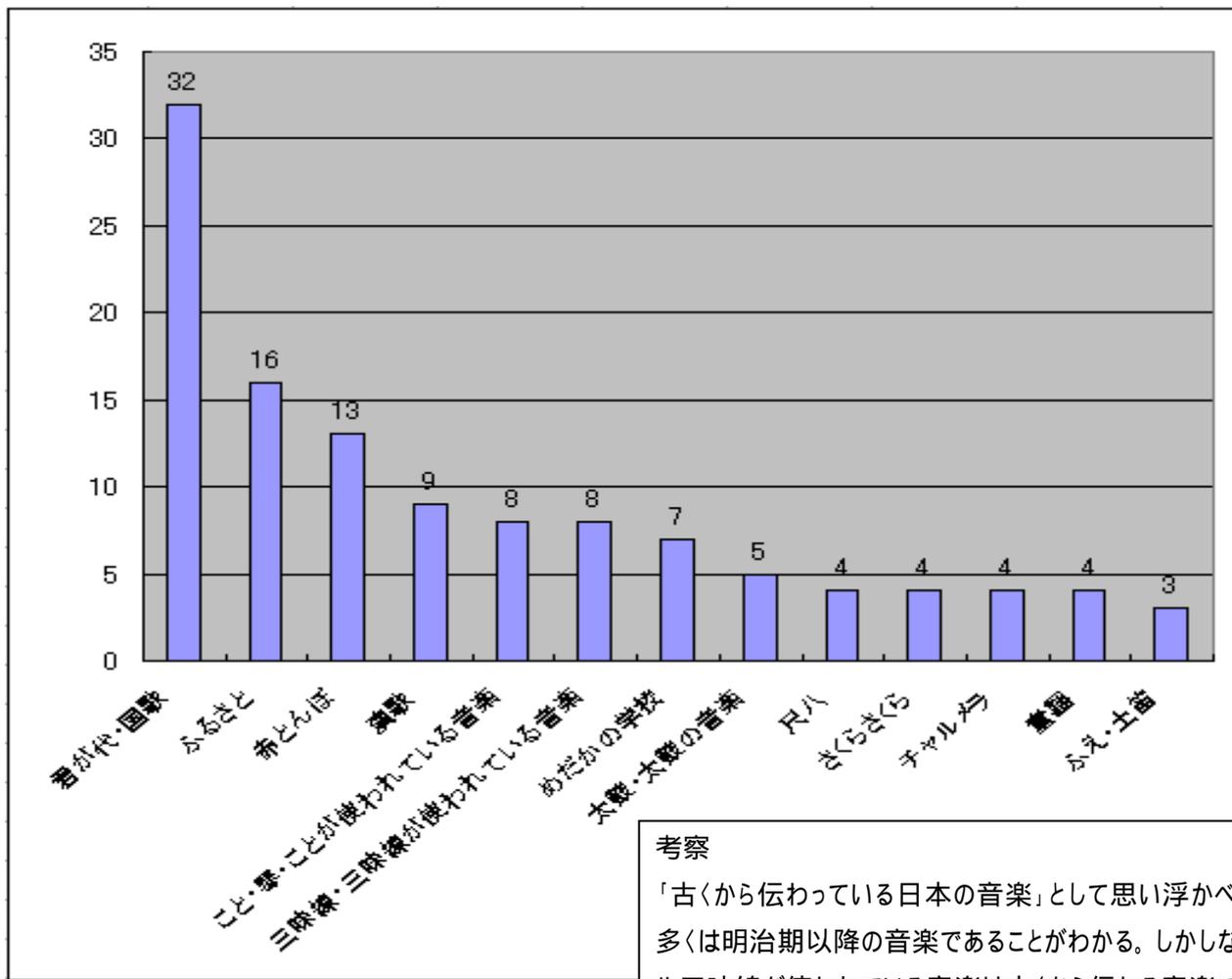


日本に古くから伝わる音楽の授業についてのアンケート結果

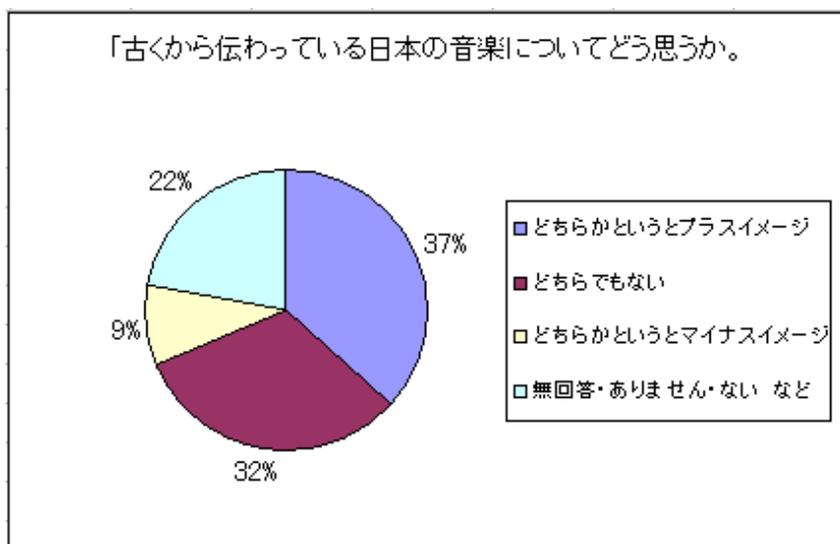
対象 大和中学校 第1学年 117名(3学級)抽出

1 「古くから伝わっている日本の音楽」と聞いて、あなたはどのような音楽や曲が思いつくか教えてください。思いつくだけ書いてください。



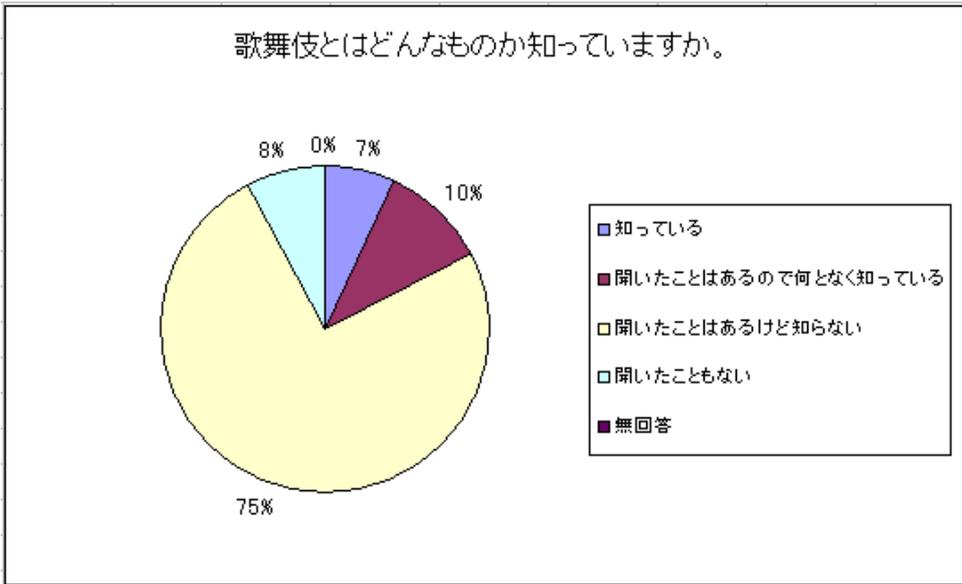
考察
 「古くから伝わっている日本の音楽」として思い浮かべる音楽の多くは明治期以降の音楽であることがわかる。しかしながら、ことや三味線が使われている音楽は古くから伝わる音楽であるという意識は比較的高いようである。

2 「古くから伝わっている日本の音楽」について、あなたが思うことを自由にかいてください。



考察
 プラスイメージの回答、どちらでもない回答、マイナスイメージの回答や無回答がほぼ3分の1ずつとなっている。しかしながら、ここで生徒が考えている「古くから伝わっている日本の音楽」とは、明治期以降の音楽を考えての回答であることが設問1から予想される。

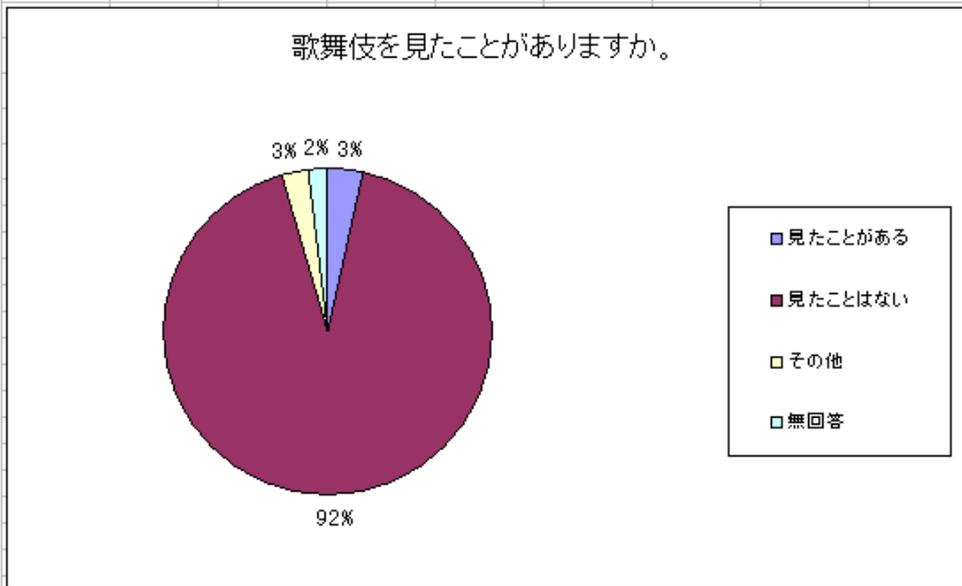
3 歌舞伎（かぶき）とはどんなものか知っていますか。



考察

歌舞伎について知っている(何となく知っているも含む)と回答した生徒は、17%であり、75%の生徒が「聞いたことがあるけど知らない」と回答している。「歌舞伎」という言葉は生徒も知っている用語として、一般化しているが、具体的なことは知らないのが現状であり、したがって、設問1にもほとんど出てくることはなかったと予想される。

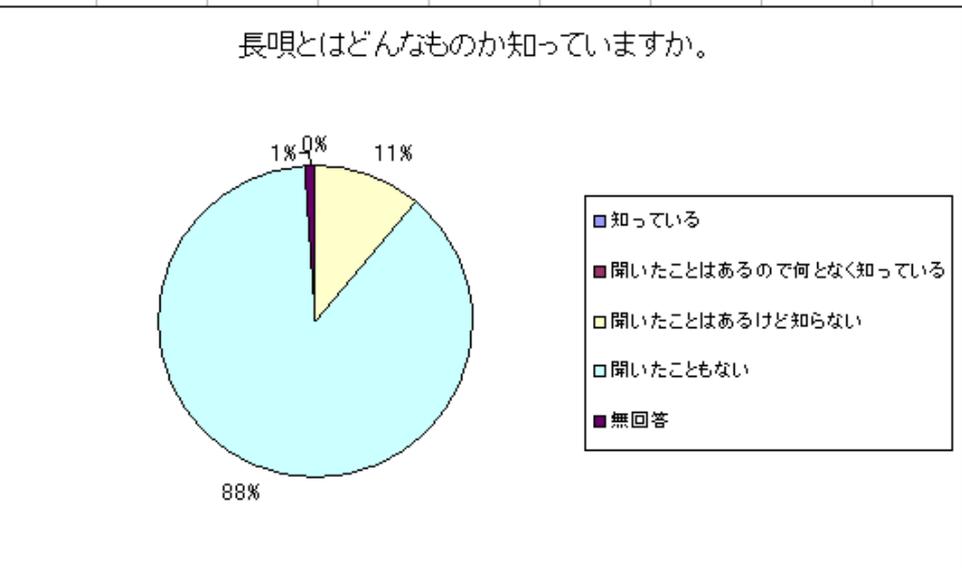
4 歌舞伎（かぶき）を見たことがありますか。



考察

設問3の結果からも十分に予想できることではあるが、「見たことがある」(テレビも含む)と回答した生徒は 3%であり、興味・関心の低さがわかる。実際に歌舞伎を見ることができる機会は極めて少なく、また、テレビなどで見ることも意識がなければほとんどないと考えられるので、当然の結果である。

5 長唄（ながうた）とはどんなものか知っていますか。



考察

「歌舞伎」という用語の認知度は高かったが、「長唄」という言葉については、「聞いたこともない」と回答した生徒が 88%を占め、ほとんどの生徒にとって、全く知らない音楽であるということがわかる。しかしながら、実際の演奏を聴くと今までの生活体験の中で「聴いたことがある」と回答する生徒は若干増えるものと予想される。